

JVC

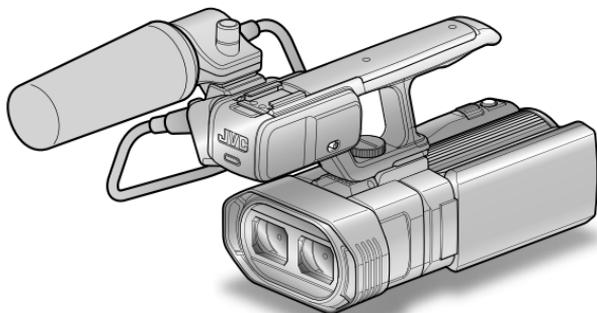
LYT2376-001A-M

JP

3D メモリーカードカメラレコーダー

型名 **GY-HMZ1**

基本取扱説明書



※イラストはGY-HMZ1に付属のオーディオユニットを取り付けた例です。(マイクは別売)

お買い上げありがとうございます。

ご使用前に、「安全上のご注意」(p. 2) および「使用上のご注意」(p. 36) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。



詳しい使い方については、CD-ROM内の「ユーザーガイド」をご覧ください。

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

SD
XCDOLBY
DIGITAL
STEREO CREATORHDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACEAVCHDTM

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	禁止されていること	実行して欲しいこと
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
 感電注意	 分解禁止	
	 ぬれ手禁止	
	 水場での使用禁止	

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などがいった
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

**バッテリーをはすず
電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはいしなない

-  ● プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
- 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温 (60°C以上) になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・ バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。
・ 幼児の手の届くところには置かないでください。

-  ● **変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する**
・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」(p.37)をご覧ください。)
- ・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

● **長期間使わないときは…**

- ① 30%程度充電された状態 (■) で保存してください。
- ② 半年に1度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態 (■) で保存してください。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

-  ● **内部に物を入れない**
・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。
-  ● **レンズを直射日光などに向けない**
・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。
-  ● **乗り物を運転中に使用しない**
・ 交通事故の原因になります。
-  ● **雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない**
・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

水場での使用禁止

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

-  **分解・改造をしない**
 - ・火災や感電の原因になります。
-  **付属のACアダプター／バッテリーチャージャー以外は使用しない**
 - ・火災や感電、故障の原因になります。
-  **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
 - ・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
-  **電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む**
 - ・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。
-  **電源コードを傷つけない**
 - ・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)／バッテリーチャージャーに、ほこりや金属を付着させない**
 - ・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
-  **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
 - ・感電の原因になります。
-  **雷がなったら、電源プラグには触らない**
 - ・感電の原因になります。
-  **ACアダプター／バッテリーチャージャーや機器を接続するときは、電源を切る**
 - ・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

-  **5年に1度は内部の点検を販売店に相談する**
 - ・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
-  **病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う**
 - ・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。
-  **グリップベルトをゆるんだまま使用しない**
 - ・落下によるけがや故障の原因になります。
 - また、お子様は大人と一緒にお使いください。
-  **三脚を確実に取り付ける**
 - ・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。
-  **移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす**
 - ・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。
-  **使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす**
 - ・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。
-  **湿気や砂ほこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない**
 - ・火災や感電、故障の原因になります。
-  **熱源の近くでは、使用しない**
 - ・火災や故障の原因になります。

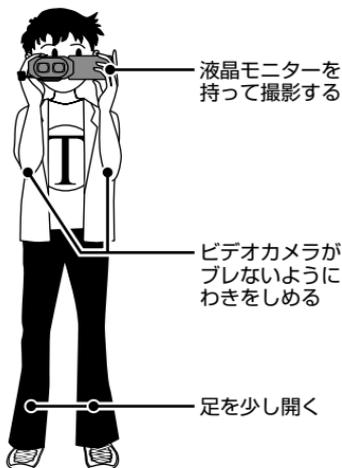
3D映像の撮影や視聴のご注意

本機は3D映像の撮影・視聴ができます。本機で撮影した3D映像を3D対応テレビで視聴すると、臨場感ある迫力の3D映像をお楽しみいただけます。また、3D映像を安全・快適にご覧いただくため、以下の注意事項を確認のうえ、正しくお使いください。

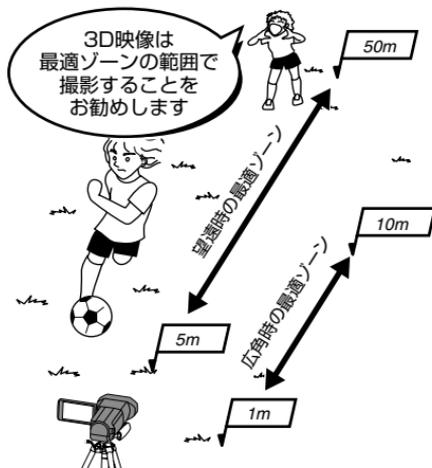
3D映像の撮影について

本機で撮影した3D映像は、左右の目に入ってくる映像のずれを利用して立体感を感じるようになっております。左右の目に入る映像に違いがあるため、人によっては疲労を感じる場合があります。また、見る映像によっては自分が動いているような錯覚を起し、映像酔いを起こしやすくなります。3D映像の撮影時には以下の点にご注意ください。

■ 3D撮影時の基本的な構えかた ～安定した映像を撮影するために～



■ 3D撮影時の撮影距離について ～快適な3D映像のために～



- ・撮影時には、足場が安定していることを確認してください。
- ・撮影中は、カメラ本体を横や縦に揺らさないようにしてください。
- ・推奨距離範囲外の被写体を撮影した場合、立体に見えにくいことがあります。
- ・遠景や夜景などを撮影する場合、立体に見えにくい被写体があります。
- ・画面の端にある被写体は、立体に見えにくいことがあります。
- ・ズームを使うときは、ゆっくりと操作してください。
- ・アップしすぎると、立体に見えにくいことがあります。
- ・三脚の使用をおすすめします。

3D液晶モニターについて

液晶モニターは撮影・再生ともに3D映像に対応しています。タッチパネルの「3D/2D」ボタンで液晶モニターの表示を3D映像と2D映像に切り換えられます。

- ・3Dモードで撮影時、液晶モニターの表示を2Dに切り換えても、記録される映像は3Dです。
- ・正面から30cm程度離れて見ると、立体に見えやすくなります。
- ・正面以外から見ると、立体に見えないことがあります。
- ・3D映像に見せる方式上、3D映像のときは液晶モニターが暗くなります。屋外などで見づらいときは、2D映像に切り換えてください。

⚠ 注意



禁止

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、睡眠不足の人、疲れた状態の人、酒気を帯びた人は3D映像を撮影・視聴しない

・病状悪化の原因になることがあります。



禁止

最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

・3D効果がより強く見える場合があります、疲労感、不快感の原因になることがあります。
・ビデオカメラの最短撮像距離は約80cm（広角時）です。



一般的注意

撮影の際、ビデオカメラの揺れに注意する

・車や電車に乗車中および歩行中などの大きな揺れは、疲労感や不快感の原因になることがあります。
・ビデオカメラを動かして撮影するときは、ゆっくりと一定の速さで動かしてください。
・できるだけビデオカメラを水平にして撮影してください。



一般的指示

近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は、視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

3D映像の撮影中や視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら使用を中止する
・3D映像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D映像をご覧ください。



一般的指示

3D映像の撮影中や視聴中に、疲労感・不快感など異常を感じた場合には、撮影・視聴を中止する

・そのまま撮影・視聴すると体調不良の原因になることがあります。
・適度な休憩をおとりください。
・車や電車に乗車中および歩行中など、画面のゆれが想定される環境での3D映像の撮影・視聴は、疲労感や不快感などの原因となることがあります。



一般的指示

液晶モニターを3D表示にして、撮影中や視聴中に疲労感・不快感など異常を感じた場合には、表示を2D映像にする

・そのまま撮影・視聴すると体調不良の原因になることがあります。



一般的指示

3D映像を撮影・視聴したあとは、十分な休憩をとる

・撮影・視聴後に車などを運転するときは、疲労感や不快感がないことを確認してください。



一般的指示

3D映像を撮影・視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

・長時間の撮影・視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



一般的指示

3D映像を3D対応テレビで視聴する場合は、画面の有効高さの3倍以上離れて見る

・推奨距離より近い場合、視覚疲労の原因になることがあります。
推奨距離の目安：42型 約1.6 m程度、46型 約1.7 m程度、
50型 約1.9 m程度、54型 約2.0 m程度



一般的指示

3D映像の撮影・視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

・お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。保護者の方が十分にご注意ください。

もくじ

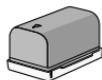
安全上のご注意	2	静止画を撮る	18
3D映像の撮影や視聴のご注意	4	再生する	
もくじ	6	本機で映像を見る/削除する	20
付属品を確かめる	6	テレビで映像を見る	21
各部のなまえとはたらき	7	保存する	
液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき	8	コンピューターに保存する	24
タッチパネルの使い方	9	付属ソフトをインストールする	26
準備する		その他	
バッテリーを充電する	10	メニュー操作のしかた	28
SDカードに記録するには	12	撮影時間/枚数の目安	32
グリップベルトを調節する	14	困ったときは	33
オーディオユニットを取り付ける	14	使用上のご注意	36
時計を合わせる	15	仕様	38
撮影する		保証とアフターサービス	39
動画を撮る	16		

付属品を確かめる

ACアダプター
AP-V20
(1.9 m)



バッテリー
パック
BN-VF823



ワイヤレス
リモコン
RM-V760U



基本取扱説明書
(本書)



CD-ROM



バッテリーチャージ
ャー
AA-VF8
(1.9 m)



USB ケーブル
(A タイプ・ミニ B タイプ)
(1 m)



AV ケーブル
(1 m)



HDMI ミニ
ケーブル
(1.5 m)

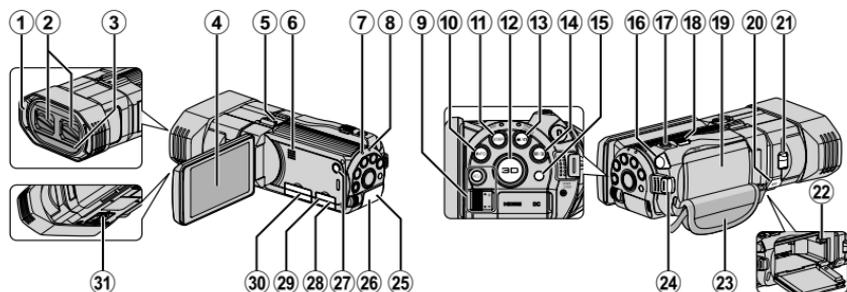


オーディオ
ユニット



- 海外で AC アダプター/バッテリーチャージャーを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
- オーディオユニットの取り付けについては、p. 14 をご覧ください。
- SD カードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 12 をご覧ください。
- 本機に添付される CD-ROM には "3D to LR Converter" と使用方法を説明する "ユーザーガイド" が収録されています。

各部のなまえとはたらき



- ① ステレオマイク
- ② レンズカバー
- ③ リモコン受光部
- ④ 液晶モニター
液晶モニターを開/閉すると、電源を入/切できます。
- ⑤ シューアダプター取り付け部
オーディオユニットや別売の外部マイクを取り付けます。
ファントムマイクは対応していません。
プラグインパワー対応のマイクをお使いください。
- ⑥ スピーカー
- ⑦ ACCESS(アクセス)ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
- ⑧ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ(p. 10)
- ⑨ ADJ ボタン/コントロールダイヤル
ADJ ボタンを押し続けると、「明るさ補正」や「フォーカス」などの撮影調整機能が表示され、コントロールダイヤルで選択・変更することができます。選択・変更した機能は ADJ ボタンで呼び出せません。
- ⑩ INFO(情報)ボタン
撮影：撮影可能時間(動画のみ)やバッテリー残量を表示します。
再生：撮影日などのファイル情報を表示します。
- ⑪ USER(ユーザー)ボタン(p. 29)
あらかじめ設定した機能を使います。
- ⑫ 3D ボタン(p. 16、p. 18、p. 20)
- ⑬ / (動画/静止画)ボタン
動画と静止画を切り換えます。

- ⑭ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン
インテリジェントオートとマニュアルモードを切り替えます。
- ⑮ リモコン受光部
- ⑯ ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続します。
- ⑰ SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン(p. 18)
- ⑱ ズーム / 音量レバー(p. 16、20)
- ⑲ バッテリーカバー
- ⑳ マイク端子
付属のオーディオユニットを接続します。
- ㉑ レンズカバースイッチ
- ㉒ バッテリー取りはずしレバー(p. 10)
- ㉓ グリップベルト(p. 14)
- ㉔ START/STOP(動画撮影)ボタン(p. 16)
- ㉕ DC 端子(p. 10)
- ㉖ HDMI ミニ端子(p. 21)
- ㉗ (電源)ボタン
押し続けると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。
- ㉘ AV 端子(p. 22)
- ㉙ USB 端子(p. 24)
- ㉚ SD カードスロット(p. 12)
- ㉛ 三脚取り付け穴

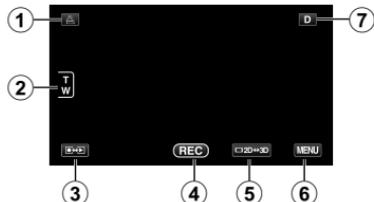
メモ

- 3D 映像の撮影のときは 2 つのレンズを使用しています。
2D 映像の撮影のときは、左側のレンズを使用しています。

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。(p. 9)

撮影画面(動画/静止画)



- ① 視差調整ボタン (p. 19)
- ② ズームボタン
- ③ 撮影/再生切換ボタン
撮影/再生モードに切り換えます。
- ④ 撮影開始/停止ボタン(p. 16, 18)

REC : 動画撮影開始ボタン

●|| : 動画撮影停止ボタン

⊙ : 静止画撮影ボタン

- ⑤ 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン

液晶モニター表示を 3D 映像と 2D 映像に切り換えます。

ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

3D⇨LR MIX⇨3D(L)⇨3D(R)⇨3D

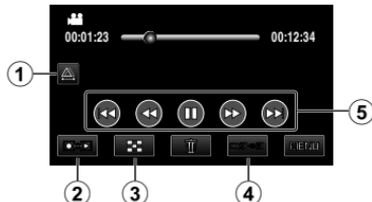
液晶モニター表示を 2D 映像に切り換えても、3D で撮影されます。

- ⑥ メニューボタン(p. 28)

- ⑦ 画面表示切換ボタン

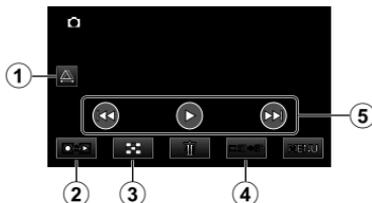
一部の表示は約 3 秒間で消えます。もう一度表示するときには押します。ボタンを押すたびに約 3 秒間表示されます。また、ボタンを押し続けると表示を消さないように設定できます。再度、ボタンを押すと設定が解除されます。

再生画面(動画)



- ① 視差調整ボタン (p. 19)
- ② 撮影/再生切換ボタン
撮影/再生モードに切り換えます。
- ③ インデックス画面ボタン
- ④ 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン
- ⑤ 操作ボタン(p. 21)

再生画面(静止画)



- ① 視差調整ボタン (p. 19)
- ② 撮影/再生切換ボタン
撮影/再生モードに切り換えます。
- ③ インデックス画面ボタン
- ④ 液晶モニター表示の 3D/2D 切換ボタン
- ⑤ 操作ボタン(p. 21)

インデックス画面



メニュー画面



① 日付ボタン

② 撮影/再生切換ボタン

撮影/再生モードに切り換えます。

③ 削除ボタン

④ 再生メディアボタン

SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。

⑤ メニューボタン(p. 28)

⑥ ページ送り/戻しボタン

① ヘルプボタン(p. 28)

② メニュー項目(p. 28)

③ 戻るボタン

④ 共通メニューボタン(p. 31)

⑤ 終了ボタン

タッチパネルの使い方

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。

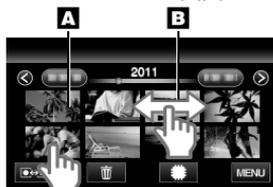
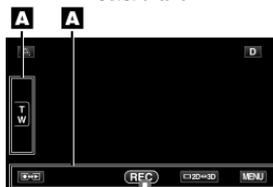
A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。

B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。

撮影画面

再生画面

インデックス画面



メモ

- 本機のタッチパネルは圧力を感じるタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押ししたり、こすったりしないでください。
- 保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」(p. 31)を行ってください。(SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押ししたり、強く押ししたりしないでください。)

準備する

撮影する

再生する

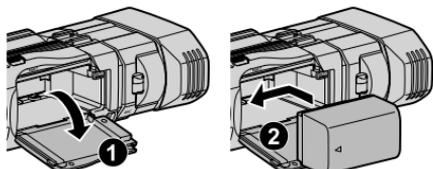
保存する

その他

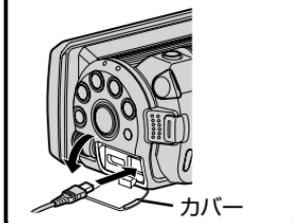
バッテリーを充電する

1 バッテリーカバーを開いて、バッテリーを取り付ける

*ご購入時のバッテリーは、充電されていません。



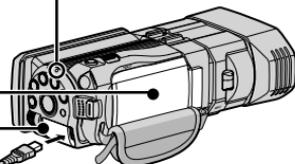
2 DC端子につなぐ



ACアダプターを
コンセントへ

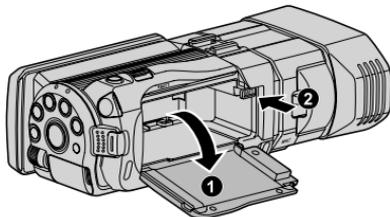
3 コンセントにつなぐ

充電ランプ 充電中:点滅
充電完了:消灯



■ 取りはずすとき

バッテリーカバーを開いて、バッテリー取りはずしレバーを押して、バッテリーをスライドさせて取りはずしてください。

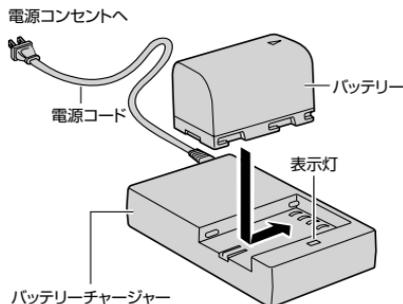


メモ

- 液晶モニターを閉じた状態で AC アダプターまたはバッテリーをつなぐと、一時的に電源が入ることがありますが、故障ではありません。この場合、約5秒後に電源は切れます。

■ 付属のバッテリーチャージャーで充電する

- ① バッテリーチャージャーの電源コードを電源コンセントにつなぐ
- ② 付属のバッテリーを押しながら矢印方向にずらし、バッテリーチャージャーに取り付ける
 - 充電が始まり、表示灯が点滅します。
 - 充電が終わると、表示灯が点灯します。
- ③ 充電が完了したら、バッテリー取り付け時とは反対方向にバッテリーをずらし、はずす



バッテリーの充電時間の目安

■ AC アダプター使用時

バッテリー	充電時間
BN-VF815	2 時間 40 分
BN-VF823 (付属品)	3 時間 40 分

■ バッテリーチャージャー使用時

バッテリー	充電時間
BN-VF815	1 時間 50 分
BN-VF823 (付属品)	2 時間 30 分

ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。

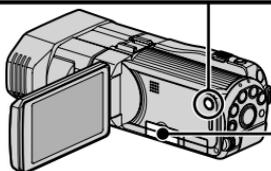
※25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

SDカードに記録するには

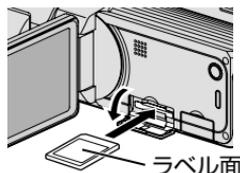
カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p. 13)
カードがない場合は、メディア設定を "内蔵メモリー" にして撮影してください。

1 本機の電源を切る

- 電源ボタン(⏻)を2秒以上押して、電源を切ってください。

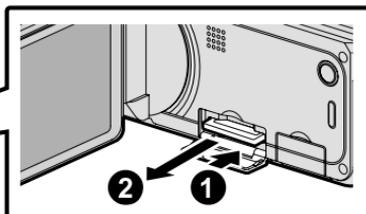
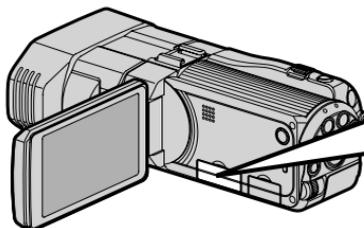


2 カバーを開けて、SDカードを入れる



■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。



メモ

次の SD カードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、ATP※
動画 	Class 4 以上対応の SD カード(2 GB)、Class 4 以上対応の SDHC カード(4 GB~32 GB)、または Class 4 以上対応の SDXC カード(48 GB~64 GB) (画質 "THR" で撮影するときは、Class 10 の使用をおすすめします。(Class 6 以上が必要です。)) (画質 "UXP" で撮影するときは、Class 6 以上の使用をおすすめします。)
静止画 	SD カード(256 MB~2 GB)、SDHC カード(4 GB~32 GB)、または SDXC カード(48 GB~64 GB)

※SD/SDHC カードのみ確認済みです。

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなったり、データが消えたりすることがあります。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。
- SDXC カードをご使用する場合は、お使いのパソコンの OS をご確認ください。パソコンの OS の対応状況は、ユーザーガイドでご確認ください。

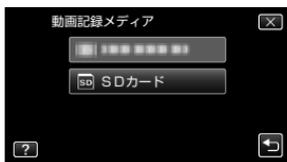
■ SDカードを使うときは

"共通"メニューの"動画記録メディア"または"静止画記録メディア"を"SDカード"に変更すると、カードを使って記録できます。

- ① 液晶モニターを開く
 - 本体の電源が入ります。
- ② "MENU"をタッチする
- ③ "⚙"をタッチする
- ④ "動画記録メディア"または"静止画記録メディア"をタッチする



- ⑤ "SDカード"をタッチする



■ほかの機器で使っていたSDカードをはじめて使うときは

"共通"メニューの"SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- ① 「SDカードを使うときは」の手順①～③を実行する
- ② "SDフォーマット"をタッチする

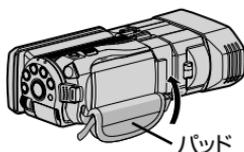


- ③ "ファイル"をタッチする

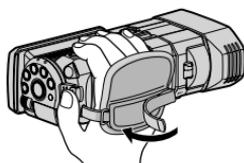


- ④ "はい"をタッチする
- ⑤ フォーマットが終わったら、"OK"をタッチする

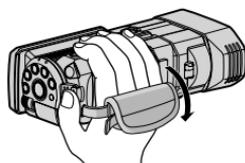
グリップベルトを調節する



① パッドをめくる



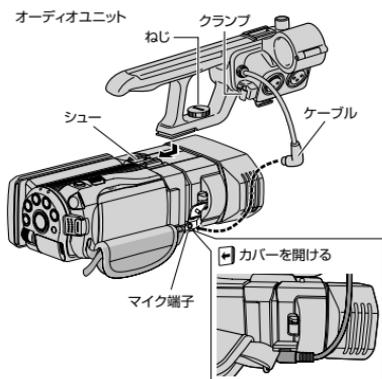
② ベルトの長さを調節する



③ パッドをしめる

オーディオユニットを取り付ける

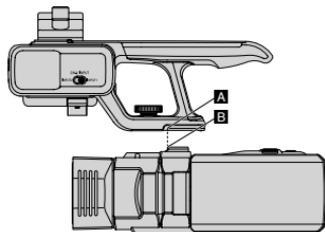
出荷時、オーディオユニット(ハンドル付き)は、本体から分離されています。オーディオユニットを下記の手順で本体に取り付けてください。



1 本体上部のシューにオーディオユニットを突き当たるまでスライドして取り付ける

- スライドさせ過ぎると、ねじが締まらなくなりしますので、ご注意ください。

2 AとBが合っている位置で、オーディオユニットに付いているねじを時計方向に回して最後まで確実に締め込んで本体に固定する



- オーディオユニットを完全に固定するには、コインなどを使ってねじを確実に締め込んでください。
- 締め付けがゆるいと、オーディオユニットがグラツいたり、使用中に本体からはずれる恐れがあります。

3 オーディオユニットのケーブルを本体のマイク端子に接続する

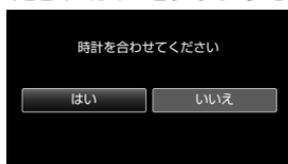
- オーディオユニットのケーブルはクランプでの固定はできません。クランプはマイクのケーブルを固定するためのものです。

時計を合わせる

1 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"をタッチする



3 日時を設定する



- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、「^」と「v」が表示されます。「^」または「v」をタッチして、日時を合わせます。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 日時設定が終わったら、「決定」をタッチする

5 お住まいの地域を選び、「保存」をタッチする

- 都市名と時差が表示されます。
- "<" または ">" をタッチして、都市名を選んでください。



時計を合わせ直すときは

"共通"メニューの"時計合わせ"から時計を合わせてください。

- ① 液晶モニターを開く
 - 本体の電源が入ります。
- ② "MENU"をタッチする
- ③ "⚙️"をタッチする
- ④ "時計合わせ"をタッチする



- ⑤ "日時設定"をタッチする



- 以降の設定のしかたは、前述の手順3～5と同じです。

メモ

- 長期間使用しないと"時計を合わせてください"が表示されます。24時間以上充電してから、時計を設定してください。(p. 10)

動画を撮る

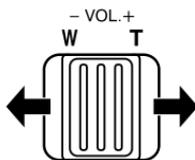
インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

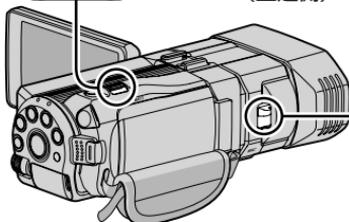
ズームを使う



(広角側)



(望遠側)



1 レンズカバーを開ける



2 動画を選ぶ



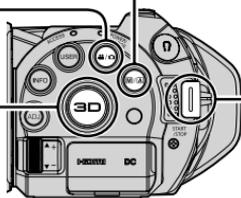
3 撮影モードが **i.A.** インテリジェントオートか確認する

- **M** マニュアルになっているときは、**M/A** を押して切り換えます。
- 押すたびに、インテリジェントオートとマニュアルが切り換わります。



4 3D撮影または2D撮影を選ぶ

- LEDが点灯しているときは、3Dでの撮影ができます。(p.16)



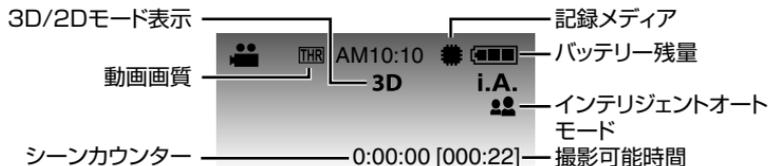
(背面)

5 撮影を開始する

- もう一度押すと、停止します。

- タッチパネルの **REC** ボタンでも撮影できます。撮影を停止するときは、**●||** ボタンを押します。また、**T/W** ボタンでズーム操作もできます。

■ 動画撮影中の表示



メモ

- マイクレベル表示が頻繁に赤色になる場合は、"マイクレベル設定"でマイクレベルを下げて緑色にすることで、より臨場感のある音で記録できます。
- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで3Dモード時(MP4(MVC))は約1時間20分、2Dモード時は約1時間55分です。(p. 33)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。

■ 3D映像の記録形式について

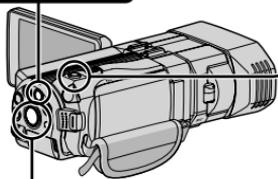
3D映像の記録方式は2種類あります。お買い上げ時はメニューの"3D動画記録形式"が"MP4(MVC)"に設定されています。設定を"AVCHD"に変更するには、ユーザーガイドをご覧ください。

AVCHD	互換性優先
MP4(MVC)	画質優先

- MP4(MVC)で撮影された映像は、フルハイビジョンで記録され、本機でのみ再生できます。
- 3D映像をブルーレイレコーダーでディスクに保存したい場合、またはパソコンでディスクに保存する場合は、"AVCHD"に設定してください。
- AVCHDで撮影された映像をブルーレイレコーダーにダビングすると、左右分かれた映像が記録されます。3D対応のTVでご覧いただくと3D映像が楽しめます。
- "MP4(MVC)"と"AVCHD"で撮影した映像は、再生時には別々に一覧表示されます。

静止画を撮る

1 静止画を選ぶ



2 3D撮影または2D撮影を選ぶ

- LEDが点灯しているときは、3Dでの撮影ができます。(p.16)

3 被写体にピントを合わせる

SNAPSHOT

半押し



ピントが合うと
緑色に点灯

4 シャッターを切る

SNAPSHOT

全押し



静止画記録中
に点灯

- タッチパネルの ボタンでも撮影できます。ただし、半押しでのピント合わせはできません。

■ 静止画撮影中の表示

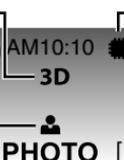
3D/2Dモード表示

シャッタースピード

静止画サイズ

ピント合わせ

静止画記録中



記録メディア

バッテリー残量

インテリジェントオート
モード

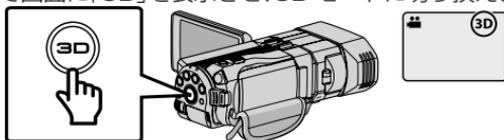
撮影可能枚数

メモ

- 3D 撮影を行うと、3D の静止画と 2D の静止画を同時に保存します。
- 3D の静止画は MP ファイル(拡張子.mpo)で保存されます。
- 3D の静止画はプリントができません。同時に撮影している 2D の静止画をプリントしてください。

■ 3D 映像を撮影するには(動画/静止画共通)

3D ボタンを押して画面に「3D」を表示させ、3D モードに切り換えます。

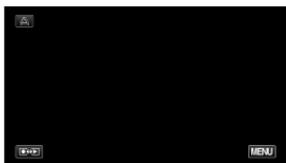


- 3D ボタンを押すたびに、3D モードと 2D モードが切り換わります。
- 2D モードで撮影した映像は、3D 映像で視聴できません。
- 3D 映像を撮影するときは、「3D 映像の撮影や視聴のご注意」もご覧ください。(p. 4、5)

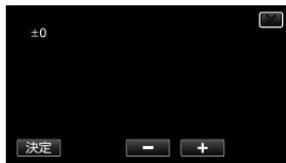
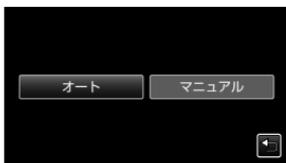
■ 視差調整について(動画/静止画共通)

3D 映像を撮影する際、視差は自動で調整されます。近くの被写体が左右にずれて見えてしまうときや遠景で立体感が弱くなる場合、視差を調整することにより、見えかたを変えることができます。

- ① タッチパネルの ボタンをタッチする
- ③ "+"または "-"をタッチして、視差を調整する



- ② "マニュアル"をタッチする



- ④ "決定"をタッチする

メモ

- ADJ ボタンに "視差調整"を設定しているときは、ADJ ボタンとコントロールダイヤルを使って、視差調整を手動で調節できます。詳しくは、ユーザーガイドをご覧ください。

本機で映像を見る/削除する

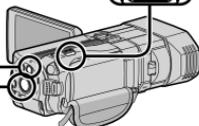
撮影した動画や静止画を一覧表示から選んで再生します。

1 動画または静止画
を選ぶ



再生中に音量を調節する

音量小 ← [VOL.] → 音量大



2 タッチパネルの [戻る] [再生] を
タッチして、再生モードにする

*撮影モードに戻すには、[戻る] [再生] を
タッチします。

3 3Dモードまたは2Dモード
を選ぶ

- LEDが点灯しているときは、3D
モードの映像が見えます。(p.20)
- 3D撮影モードと2D撮影モードで
記録した映像は、別々に一覧表示さ
れます。3Dボタンを押して、再生し
たいモードに切り換えてください。

■ 不要な映像を削除するには

- ① 画をタッチする
- ② 削除するファイルをタッチする
選んだファイルに削除マークが表示されます。削
除マークを消すときは、もう一度タッチします。



- ③ "決定"をタッチする
- ④ "実行する"をタッチする

4 再生するファイル(映像)を
タッチする



- [SD] をタッチすると再生するメディアが切り換わります。
- 再生中に [停止] をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に [戻る] をタッチすると、一覧表示画面に戻ります。
- [サムネイル] をタッチするとグルーピングされて表示し
ているサムネイルをすべて表示します。もう一度タッ
チするとグルーピングします。(静止画の場合のみ)

■ 再生の1コマを静止画として保存するとき

一時停止中に SNAPSHOT ボタンを押します。(24p で記録した映像は非対応)

メモ

- 60i と 24p で記録した映像は、別々に一覧表示されます。24p で撮影した映
像を見るときは、一度撮影モードにしてメニューの "システムセレクト" を "24p"、
60i で撮影した映像を見るときは "60i" に設定してから、再生モードにしてくだ
さい。

■再生中に使える操作ボタン

	動画再生中	静止画再生中
▶ /	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
■	停止(一覧表示に戻る)	停止(一覧表示に戻る)
▶▶	次の動画に進む	次の静止画に進む
◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶▶	早送り	-
◀◀◀	早戻し	-
	一時停止中にコマ送り/押し続けるとスロー再生	-
◀	一時停止中にコマ戻し/押し続けると逆スロー再生	-
📷	-	連写した静止画の連続再生

- ボタン表示は約5秒間で消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 電源ボタン(🔋)を2秒以上押して、電源を切ってください。

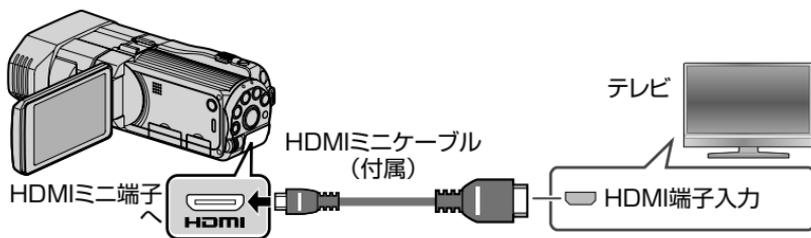
■3D対応テレビで3D映像を視聴するとき

3D対応テレビをお使いの場合は、本機のHDMIミニ端子に接続すると3D映像を再生することができます。

■ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機のHDMIミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI端子でつなぐ



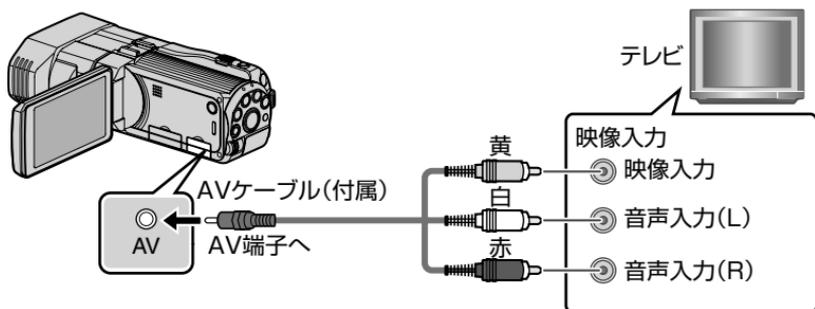
メモ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。
- 3D 映像を視聴中に疲労感や不快感などを感じたら、「共通」メニューの「HDMI 出力」を「2D 出力」に変更してください。また、必要に応じてテレビの設定も 2D 表示にしてください。本機の設定を変更するには、ユーザーガイド（設定メニュー/「共通」メニュー）をご覧ください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。AV 端子で接続した場合、3D モードのときもテレビの表示は 2D になります。

AV 端子でつなぐ



2 AC アダプターをつなぐ (p. 10)

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (p. 20)

■ より臨場感のある音で視聴するには

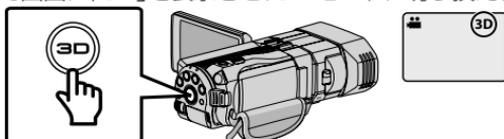
3D サウンドを入れて撮影した映像を再生するとき、TV の中央や左右スピーカーの中央で視聴いただくことで、より臨場感のある 3D サウンドがお楽しみいただけます。

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	● "共通"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	<ul style="list-style-type: none"> ● "x.v.Color"が"入"の状態撮影した映像を再生するとき、必要に応じてテレビを設定してください。 ● テレビ側で画面を調整してください。
3D映像にならない	● "共通"メニューの"HDMI出力"を"一部のテレビ用"に変更してください。

■ 3D映像を視聴するには

3D ボタンを押して画面に「3D」を表示させ、3D モードに切り換えます。



- 3D ボタンを押すたびに、3D モードと 2D モードで撮影された映像の一覧表示が切り替わります。
- 3D 映像を視聴するときは、「3D 映像の撮影や視聴のご注意」もご覧ください。(p. 4、5)

■ 視差調整について(動画/静止画共通)

3D 撮影された映像を再生したときに、3D で見えない、または立体感が弱いことがあります。このようなときは、視差調整をすることにより、立体感を変えることができます。視差調整方法について詳しくは、p. 19 またはユーザーガイドをご覧ください。

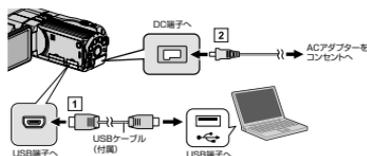
■ 3D 注意表示について

3D 映像を長時間視聴すると、疲労感や不快感などの異常を感じる場合があります。本機は 3D 映像を視聴しているとき、30 分ごとにメッセージを表示します。メッセージを表示させないようにするには、「3D 注意表示」を"切"に変更してください。設定を変更するには、ユーザーガイド(設定メニュー/"共通"メニュー)をご覧ください。

コンピューターに保存する

本機とコンピューターを USB ケーブルで接続することで、内蔵メモリーと SD カードのファイルを読み出したり、コピーすることができます。

1 USBケーブルと AC アダプターを接続する

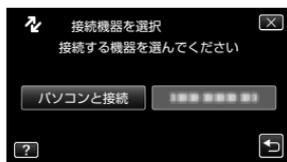


① 付属の USB ケーブルでつなぐ

② 本機に AC アダプターをつなぐ

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。
- 付属の AC アダプター／バッテリーチャージャーを使用してください。
- "接続機器を選択"メニューが表示されます。

2 "パソコンと接続"をタッチする



3 "パソコンで見る"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ↶ をタッチすると、前画面に戻ります。
- 以降の手順は、コンピューターで操作してください。

Windows の場合

"スタート"メニューから "コンピュータ"(Windows Vista)/ "マイコンピュータ"(Windows XP)/ "コンピュータ"(Windows 7)を選んで、"JVCCAM_MEM"または "JVCCAM_SD"アイコンをクリックする
Mac の場合
"名称未設定" アイコンをダブルクリックし、"JVCCAM_MEM" または "JVCCAM_SD" アイコンをクリックする

4

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。(p. 25)

5

コンピューターの任意のフォルダにファイルをコピーする(デスクトップなど)

メモ

- ファイルを編集・鑑賞するには、AVCHD(動画)/MP4(動画)/MPO(3D 静止画)/JPEG(2D 静止画)に対応したソフトウェアを使用してください。
- 上記のコンピューターでの操作は、システムによって異なることがあります。

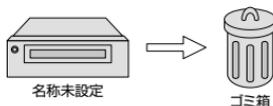
本機をコンピューターから取りはずす
(Windows の場合)

本機をコンピューターから取りはずす
(Mac の場合)

1 "ハードウェアの安全な取り外し"を
クリックする



"名称未設定" アイコンをゴミ箱に捨てる



2 "USB 大容量記憶装置～"をクリック
する

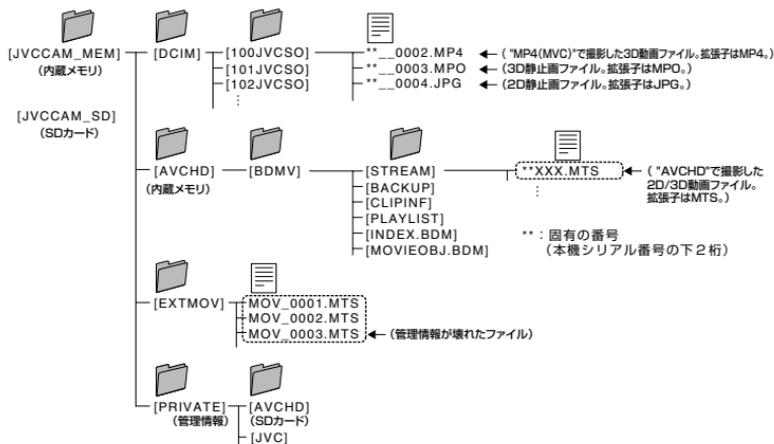
3 (Windows Vista の場合) "OK"を
クリックする

4 USB ケーブルをコンピューターから
取りはずし、本機の画面を閉じる

ファイルとフォルダの一覧について

内蔵メモリー、または SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。

フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



ご注意

- フォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをコンピューターで行うと、本機で再生できなくなります。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

付属ソフトをインストールする

パソコンの性能(目安)を確かめる

■ 動作環境

	Windows	Mac
CPU	Intel Pentium 4 以上	—
RAM	1 GB 以上(2 GB 以上を推奨)	2 GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows XP Service Pack 3 - Professional (32 ビット)• Microsoft Windows Vista Service Pack 2 - Business (32 ビット/64 ビット)- Ultimate (64 ビット)• Microsoft Windows 7 Service Pack 1 - Home Premium (32 ビット/64 ビット)- Professional (32 ビット/64 ビット)- Ultimate (64 ビット) 上記各 OS の日本語版 ※本ソフトウェアのインストールには管理者権限 (Administrator) でログインしている必要があります。 ※仮想 OS 環境内での動作は保証しません。	Mac OS X 10.6.7 以降 ※最新の対応 OS 情報は、(株)ピクセラのホームページをご覧ください。
対応機種	上記 OS がプリインストールされた IBM PC/AT 互換機	Intel 製 CPU 搭載の Mac
HDD	インストールに 20MB 以上の空き容量が必要	インストールに 20MB 以上の空き容量が必要
ディスプレイ	1024x768 ピクセル、16 ビット(High color) 以上で表示可能なもの (1280×1024 ピクセル、32 ビット以上、Intel G965(オンボード VGA)以上推奨) Direct 3D 9.0c 以降	解像度 1280x800 以上
光学ドライブ	インストールに CD-ROM ドライブが必要	インストールに CD-ROM ドライブが必要
その他	非圧縮で保存するためには QuickTime 7.6 以降が必要	—

メモ

- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。
- 上記の動作環境は、すべての動作を保証するものではありません。
- ご利用のコンテンツ数やデータ容量などにより、推奨以上の環境が必要になる場合があります。
- 将来的に機能のアップデートなどがあったときは、推奨以上の環境が必要になる場合があります。

付属ソフトをインストールする

付属ソフトを使うとMP4(MVC)で撮影された3D映像を、LとRの2つの2D映像に分離することができます。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

Windows Vista / Windows 7 の場合

- ① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行" をクリックする。
- ② ユーザーアカウント制御画面で "続行" をクリックする。
 - しばらくすると "設定言語の選択" 画面が表示されます。
 - 表示されないときは、"コンピュータ" のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

Windows XP の場合

- 手順2へ進みます。

2 設定言語を選択し、"次へ" をクリックする



- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了" をクリックする



- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。



3D to LR Converter

- "3D to LR Converter" の操作方法は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [PIXELA] - [3D to LR Converter] の取扱説明書をご覧ください。

Mac の場合

- ① 付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- ② "3D to LR Converter.dmg" アイコンをダブルクリックする
- ③ 表示されたウィンドウ内の "3D to LR Converter" アイコンを右側にあるアプリケーションフォルダアイコンにドラッグ&ドロップしてコピーする



3D to LR Converter



- "3D to LR Converter" の操作方法は、[ヘルプ] - [3D to LR Converter ヘルプ] をご覧ください。

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

2 設定したいメニューをタッチする



- "共通"メニューを設定したいときは、*****をタッチします。
- "∧"または"∨"をタッチすると、画面をスクロールできます。

3 変更したい設定項目をタッチする

■ 設定を終了するとき

"X"をタッチする

■ 一つ前の画面に戻るとき

"◀"をタッチする

■ ヘルプを表示するとき

- "?"をタッチし、メニュー項目をタッチする
- ヘルプの表示がない場合があります。

設定メニュー一覧

■ 動画撮影メニュー

- マニュアル設定メニュー(p. 30) 動画または静止画の撮影時に、マニュアル撮影の設定を変更できます。(マニュアル撮影時のみ表示されます)
 - ➔ マニュアル撮影モードに変更するには (p. 16)

タッチ優先AE / AF

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

タイムラプス撮影

一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

システムセレクト

映像の記録方式を設定します。

3D動画記録形式 (3D撮影時のみ)

3D動画の記録形式を設定します。(p. 17)

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率 (2D撮影時のみ)

ズームの最大倍率を設定します。

x.v.Color (2D撮影時のみ)

より忠実に色を記録します。

(再生するときは、x.v.Color対応テレビをお使いください)

USERボタン設定

よく使う機能をUSERボタンに割り当てます。

3Dサウンド

内蔵マイクで臨場感のある音で録音したいときに設定します。

マイクレベル表示

マイクレベル表示を表示するか設定します。

マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。

ヘッドホン音量調整

接続するヘッドホンの音量を設定します。

■ 静止画撮影メニュー

● マニュアル設定メニュー(p. 30)
動画または静止画の撮影時に、マニュアル撮影の設定を変更できます。

(マニュアル撮影時のみ表示されます)

➔ マニュアル撮影モードに変更するには(p. 16)

タッチ優先 AE/AF

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。(動画とは別に設定できます)

グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

シャッターモード

連写を設定できます。

連写スピード

連写の速度を設定します。

静止画サイズ (2D撮影時のみ)

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

USERボタン設定

よく使う機能をUSERボタンに割り当てます。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

マニュアル設定

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。

ナイトアイ:

周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。

夜景:

夜景を自然な感じに撮影できます。

ポートレート:

背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。

スポーツ:

動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できます。

スノー:

晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。

スポットライト:

ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。

(動画と静止画で別々に設定できます)

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。

(動画と静止画で別々に設定できます)

絞り優先AE

絞り値を調節できます。

(動画と静止画で別々に設定できます)

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

ゼブラ (動画撮影時のみ)

被写体の明るい部分にゼブラ模様を表示するかどうかを選択します。

テレマクロ (2D 撮影時のみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

シネマ

映画のような映像表現にします。

■ 動画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

プロテクト/解除

誤削除防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

特殊ファイル再生

管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。

■ 静止画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

プロテクト/解除

誤削除防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

- 詳しい設定内容については、ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 28 をご覧ください。

共通メニュー

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

LANG./言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

動画記録メディア

動画の保存先を内蔵メモリーまたはSDカードに設定します。

静止画記録メディア

静止画の保存先を内蔵メモリーまたはSDカードに設定します。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

リモコン

リモコンで操作できるようにします。

タッチパネル調整

タッチパネルボタンの反応位置を調整します。

3D 注意表示 (3D モード時のみ)

3D 視聴時の注意事項を表示するか設定します。

ビデオ出力 (2D モード時のみ)

接続するテレビに合わせた画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

自動ファイナライズ

作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

SD フォーマット

SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。

メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間や撮影時間は、INFO ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

■ 3D モード(MP4(MVC))

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
THR	4 時間	10 分	30 分	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間 10 分
TSR	6 時間 10 分	20 分	40 分	1 時間 30 分	3 時間 10 分	4 時間 40 分	6 時間 20 分

■ 3D モード(AVCHD)

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
TXP	8 時間 10 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
TSP	11 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分

■ 2D モード

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
UXP	5 時間 50 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 20 分	5 時間 50 分
XP	8 時間 10 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
SP	11 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分
EP	29 時間 10 分	1 時間 40 分	3 時間 40 分	7 時間 10 分	14 時間 50 分	21 時間 50 分	29 時間 50 分

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

■ 3D モード

画像サイズ	内蔵メモリー	SDHC カード			
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
1920×1080 (16:9)	4999	1000	2200	4400	4999

■ 2D モード

画像サイズ	内蔵メモリー	SDHC カード			
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
2304×1296 (16:9)	9999	2200	4600	9100	9999
1920×1080 (16:9)	9999	3200	6700	9999	9999
1728×1296 (4:3)	9999	3000	6200	9999	9999
640×480 (4:3)	9999	9999	9999	9999	9999

- 内蔵メモリー(2D モード時)、32GB 以上の SD カードには(画像サイズや画質などに関わらず)9999 枚まで撮影できます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

■ 液晶モニターが 3D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間		連続撮影時間	
	3D モード時 (MP4(MVC))	3D モード時 (AVCHD)	3D モード時 (MP4(MVC))	3D モード時 (AVCHD)
BN-VF815	55 分	1 時間	1 時間 45 分	2 時間
BN-VF823	1 時間 20 分	1 時間 35 分	2 時間 40 分	3 時間 5 分

■ 液晶モニターが 2D 表示の場合

バッテリー	実撮影時間			連続撮影時間		
	3D モード時 (MP4(MVC))	3D モード時 (AVCHD)	2D モード時	3D モード時 (MP4(MVC))	3D モード時 (AVCHD)	2D モード時
BN-VF815	55 分	1 時間 5 分	1 時間 20 分	1 時間 50 分	2 時間 10 分	2 時間 35 分
BN-VF823	1 時間 25 分	1 時間 40 分	1 時間 55 分	2 時間 45 分	3 時間 15 分	3 時間 50 分

- "モニター明るさ"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 1 以下の「こんなときは・・・」をご覧ください。
- 2 ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。
使い方で困ったときもユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
- 3 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。
そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。
 - ① 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)
 - ② 電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続して液晶モニターを開くと、本機の電源が入ります。
- 4 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、または別紙のご相談窓口案内をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照 ページ
電源	画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーの充電中です。 	10
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> ● / ボタンを確認してください。 ● 画面の ボタンをタッチして撮影モードにしてください。 	7 20
撮影	自動的に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) ● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。 	- -
	音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。故障ではありません。 	-
再生	一覧表示(サムネイル表示)に見たい映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 3D ボタンを押して、再生したいモードに切り替えてください。 ● 動画撮影メニューの "システムセレクト" を、"60 i" または "24 p" に切り替えてください。 ● 動画撮影メニューの "3D 動画記録形式" を、"MP4 (MVC)" または "AVCHD" に切り替えてください。 ● / ボタンを押して、再生したいメディアに切り替えてください。 	7 28 17 -
	3D 対応テレビで正しく 3D に見えない	<ul style="list-style-type: none"> ● "共通"メニューの "HDMI 出力" を変更してください。 	31
	充電中、ランプが点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。) 	7 10
その他	本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。) 	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ記録できませんでした／カードへ記録できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源を入れ直してください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、「共通」メニューの「メモリーフォーマット」または「SDフォーマット」を実行してください。（データはすべて消えます。） 	- -
撮影データが少ないため保存できません	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 	-
内蔵メモリーエラー／カードエラー	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源を入れ直してください。 ● ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。 ● SDカードの端子の汚れを取り除いてください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、「共通」メニューの「メモリーフォーマット」または「SDフォーマット」を実行してください。（データはすべて消えます。） 	- - - -
レンズカバーを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズカバーが閉じているとき、または周りが暗いときに電源を入れると、約5秒間表示します。 	-
正しく3Dで撮影できません 2Dに切り替えて撮影してください	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げの販売店、または別紙のご相談窓口案内をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にご相談ください。 	-

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
この処理は、お客様の責任において行ってください。
万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

液晶モニターについて

- 表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：有限責任中間法人 JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 本機で記録・録音したものを営利目的、または公衆に試聴することを目的として放映することは、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 記録(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと **x.v.Color** は商標です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) と **HDMI** は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby, ドルビーとダブルD 記号は、ドルビーラポラトリーズの商標です。
- YouTube と YouTube ロゴは、Google Inc. の商標および登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel Core, Pentium, Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと® マークを明記していません。

仕様

カメラ本体	
電源	AC アダプター使用時:DC 11 V、バッテリー使用時:DC 7.2 V
消費電力	3D モード時:4.8 W (AVCHD)、5.5 W (MP4 (MVC)) 2D モード時:3.8 W ("モニター明るさ"が "標準"の場合)
外形寸法(mm)	102 x 66 x 186 (幅×高さ×奥行き:オーディオユニット非装着時) 134 x 154 x 234 (幅×高さ×奥行き:オーディオユニット装着時)
質量	約 605 g(オーディオユニット非装着時)、約 730 g(付属バッテリー含む) 約 850 g(オーディオユニット装着時)、約 975 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃ ~ 40℃、許容保存温度:-20℃ ~ 50℃、 許容相対湿度:35 % ~ 80 %
映像素子	1/4.1 型 332 万画素 プログレッシブ CMOS x 2
撮像エリア(動画)	3D モード時:207 万画素(手ぶれ補正 "入") 2D モード時:207 万画素~298 万画素(手ぶれ補正 "入")
撮像エリア(静止画)	3D モード時:(16:9)207 万画素 2D モード時:(16:9)298 万画素
レンズ	3D モード時:F1.2 ~ F2.28、f= 3.76 mm ~ 18.8 mm (手ぶれ補正 "入")35 mm カメラ換算:44.8 mm ~ 224 mm (手ぶれ補正 "切")35 mm カメラ換算:42.0 mm ~ 210 mm (手ぶれ補正 "入(A. I. S.)")35 mm カメラ換算:47.7 mm ~ 238 mm 2D モード時:F1.2 ~ F2.8、f= 3.76 mm ~ 37.6 mm (手ぶれ補正 "入")35 mm カメラ換算:37.3 mm ~ 373 mm (手ぶれ補正 "切")35 mm カメラ換算:37.3 mm ~ 373 mm (手ぶれ補正 "入(A. I. S.)")35 mm カメラ換算:42.0 mm ~ 420 mm
ズーム(動画)	光学ズーム:等倍 ~ 5 倍 (3D モード)、~ 10 倍 (2D モード) デジタルズーム:~ 200 倍 (2D モード)
ズーム(静止画)	光学ズーム:等倍 ~ 5 倍 (3D モード)、~ 10 倍 (2D モード)
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像: AVC/H.264、音声:Dolby Digital (2ch) MP4 規格準拠、映像:MVC(独自規格)、音声:AAC (2ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠、MPF 準拠(立体視対応)
記録メディア	内蔵メモリー(64 GB)、SD/SDHC/SDXC カード(市販)
時計用電池	二次電池

AC アダプター(AP-V20)	
電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 11 V、1.0 A
許容動作温度	0℃ ~ 40℃(充電時は 10℃ ~ 35℃)
外形寸法(mm)	78 x 34 x 46 (幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100 g

- 海外で AC アダプター/バッテリーチャージャーを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙ご相談窓口案内をご覧ください。最寄のご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはご相談窓口にご案内をお知らせください。

品名	: 3Dメモリーカードカメラレコーダー
品番	: GY-HMZ1
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

準備
する

撮影
する

再生
する

保存
する

その他

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

付属ソフトのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

 **0120-727-231** (受付時間 10:00~18:00)
・年末年始、祝日、休業日を除く)

携帯電話をご利用の場合 フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合
 **0570-064-246** **FAX 06-6633-2992 (24時間受付)**

ホームページ

 http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/3d_to_lr_converter/j/win

 http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/3d_to_lr_converter/j/mac

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポート
センターにご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVC
ケンウッドカスタマーサポート
センターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

 **0120-2727-87**

2011年4月から名称および電話番号が変更になりました。

(月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30)
・日曜祝日、弊社休業日を除く

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは  **045-450-8950**
FAX 045-450-2308

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
- 本書の内容は2011年8月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12



LYT2376-001A-M